保育園の評価

I・保育所共通評価項目

- ・ 回答が難しかったようで、空欄が目立った。
- ・ 評価の理解度やとらえ方に個人差やばらつきがあり、総合的な評価として結果を位置づけるのに難しい面があった。しかし、一人ひとりの主観に触れたので、どの点で問題を抱えているのか、検討する材料になった。全体的にもう少し努力して進めば結果が見られるのでは？と思われる項目が多く、これからもう一步改善できたらと思う。

1. 福祉サービスの基本方針と組織

- ①理念と基本方針は、子ども一人ひとりが人格を持った人間として接し、個性を尊重し、保育を行っている。園からの便り、キッズリー等の媒体を通して理念、方針、目標等を掲載し、充分とは言えないが保護者にも提示している。
- ②事業の運営は、ホームページに事業報告、決算報告等を掲載し開示している。また園内でも閲覧できる。
- ③子ども主体性の保育を目指しているが、中期、長期のビジョン、計画の取組みが弱い。今後は中期、長期のビジョンを取り上げていきたい。

2. 組織の運営

- ①クラス担任と主任、担任同士の話し合いを重ね、保育士会、職員会を大切にし、意見が言えるように工夫したが、まだ全ての職員が意見を述べるという雰囲気は薄い。施設長も職員個々にあった良い点を伸ばそうとする傾向は見られるが、リーダーシップに乏しい。また忙しさにか負けて、職員との面談は十分とは言えない。
- ②子どもため、また園の運営に何が必要か、欠けているか、職員が一丸となって新しい方向性に進みつつある。
- ③理事、評議員、第三者委員との連携も困難ではあったが、理事会で諮った内容については施設長から報告等があった。

3. 適切な福祉サービスの実施

- ①子どもの人格を尊重した保育は、理念を通して一人ひとりの職員が心掛けている。
- ②「心を育てる」をテーマに、毎月の話は継続していきたい。
- ③子どもたちのプライバシー、子どもたちの権利擁護に心掛けている。
- ④数か所の入り口に意見箱を設置し、保護者の意見、苦情、不備等を解決するための仕組みを整備している。また、保護者の意見にも添えるよう、年間の計画の見直しをしている。
- ⑤子どもたちの事故防止のため、毎月(日)の遊具等の点検を行い、不備がある時は迅速に修繕を心掛けている。また、看護師、調理師等が中心となって、アレルギー対策、感染症防止対策に講じている。

Ⅱ・保育内容

- ・ 保育内容に関しては、実体験や経験値の上で回答できることが割と容易であり、高い評価である。
- ・ まだまだ次の段階まで進めば、Aになるのでは？と思われる項目が多々ある。

- ① 保育理念、方針、目標等を見直し、子ども主体性の保育を今後も目指していく
- ② マニュアル作成や周知に課題が見つかったので、これからどのように取り組んでいくか検討していきたい。
- ③ 一人ひとりの子どもの声に耳を傾け、特に気になる子どものために、保護者との面談を行い、情報を共有しながら保育を行っている。保護者の認識のもと、関係機関を利用でき、今後も各機関との連携を密にしていきたい。
- ④ 各保育士のキャリアアップ、自己の専門性を高めるために、出来る限りオンラインや会場での研修に参加した。
- ⑤ 毎年、子どもたちの健康診断、歯科検診を行っている。
アレルギーの子どもの食事は特に配慮し、医師からの指示の下、また保護者からの情報を得ながら、全ての職員が周知するようにしている(担任が休暇の日、他職員がそのクラスの配置になった時、不安がある)。
運動場は狭いがその季節に合った運動、遊びを取り入れたり、散歩を行っている。また体育教室を通して、体力促進に励んでいる。

※ 個人的な仕事に関する熱意や意気込みが、自己評価の紙面から感じ取れた。

令和7年2月20日～3月20日 実施
長崎聖マリア保育園